

第3章. 実現方策の評価

1. 取組み中の実現方策

前回ビジョンにおいて示した施策に基づいて事業を推進してきました。

図 3-1 に取組み中の施策を示します。

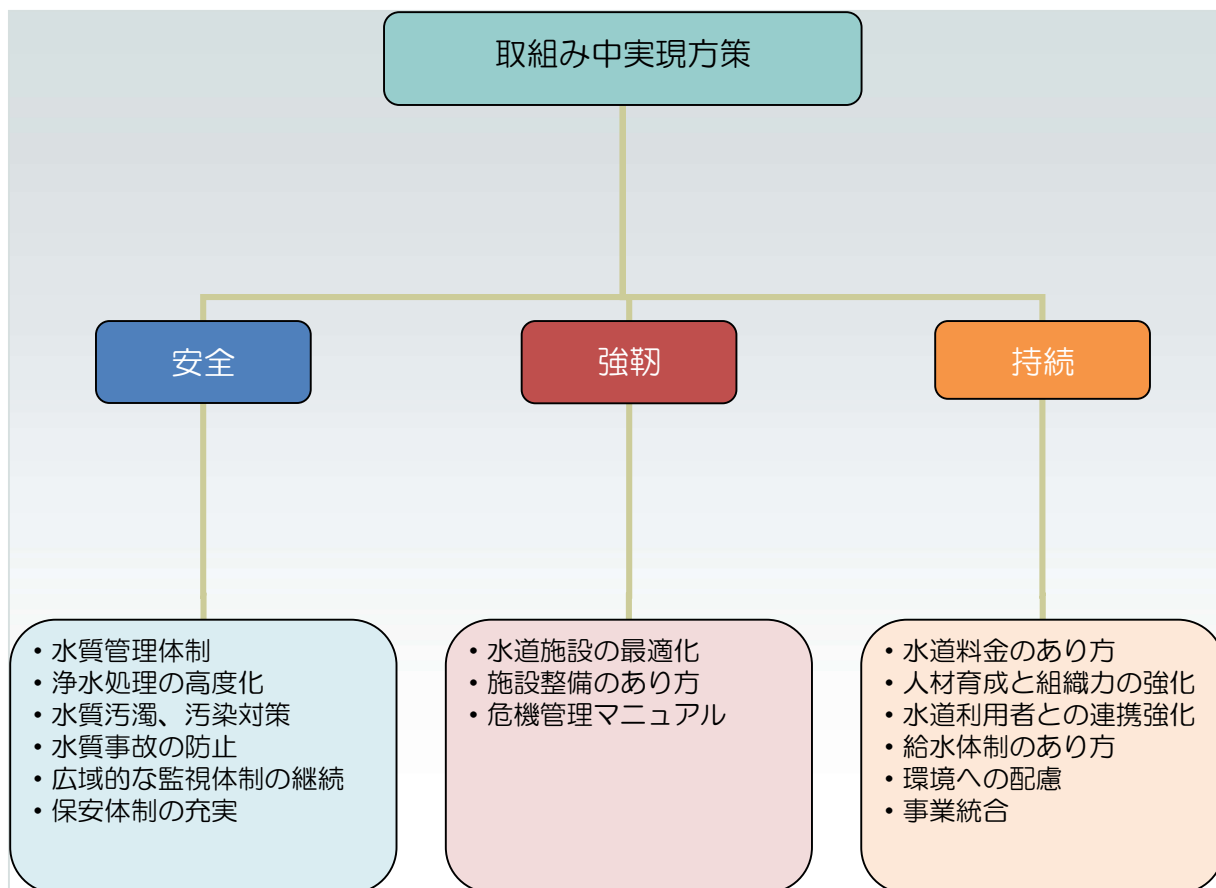


図 3-1 取組み中実現方策

2. 実現方策の進捗状況と評価

表 3-1 に 3 つの基本方針（「安全」「強靱」「持続」）に基づく、実現方策の進捗状況を示します。

この結果から、前回ビジョンで示した具体的な施策（31 項目）のうち、ハード面の整備（13 項目）については、自動水質管理システムの導入をはじめ 4 つの整備が完了しており、残りについても計画的、継続的に実施しているところです。

また、ソフト面についても、継続的に実施しており、全体的な評価としては、概ね良好な進捗を示しています。

表 3-1 実現方策の進捗状況

基本方針	基本施策	具体的な施策	進捗状況
安全	水質管理体制	水質検査結果の公表	定期的に結果を公表
		★自動水質監視システムの導入	H26完了
	浄水処理の高度化	★エアレーション（曝気）設備と紫外線処理設備の導入	木津第1水源地実施設計ほか
	水質汚濁・汚染対策	★集水埋渠の改修	現地状況により実施予定
		★自動水質監視装置の導入	H25完了
	水質事故の防止	直結給水と管理体制の強化	給水に関する情報提供ほか
		給水装置による事故の防止	
広域的な監視体制の継続	広域的な監視体制の強化	水質検査結果の注視	
保安体制の充実	★保安体制の強化	監視カメラ等の設置完了	
強靱	水道施設の最適化	★施設の統廃合	配水池統合予定
		★管路口径の見直し	口径の見直しと更新
		機械・電気設備の延命化	適切な維持管理の実施
	施設整備のあり方	★施設の耐震化と老朽化施設の更新	耐震二次診断と工事実施
		★管路の更新	更新延長 11,007m
		★施設の増設	緊急遮断弁の設置
	危機管理マニュアル	危機管理マニュアルの整備	危機管理マニュアル見直しの検討
		応急給水の体制	体制の継続及び訓練の実施
資器材の整備		資器材の整備を実施	
防災訓練の実施		定期的に実施	
持続	水道料金のあり方	料金体系・用途別料金のあり方	健全経営の推進 水需要の動向を注視
		世代間の負担の公平	
		財政の見通し	
	人材育成と組織力の強化	人員確保	人材育成の取組
		技術継承	再任用職員の活用
	水道利用者との連携強化	情報提供	ホームページの活用
		施設見学	施設見学者の受入れ実施
	給水体制のあり方	★給水区域のあり方	千種川左岸への安定供給の検討
		★相互融通管の設置	相互融通管の設置検討
	環境への配慮	★新エネルギーの導入（太陽光発電）	H28完了
環境負荷の低減		太陽光発電設備の設置ほか	
事業統合	南部・北部の事業統合	H26完了	

★ハード面の整備